

7 本時のねらい

分数÷整数で、被除数の分子が除法でわりきれない場合の計算原理や方法を見出し、その方法を使って計算することができる。

8 本時の展開

	学 習 活 動	見とどけ(◇)と指導・援助(・)
つかむ	<p>問題 $\frac{4}{5}$ℓのジュースを、3人で等分します。 1人分は何ℓになるでしょう。</p> <p>1 前時の式との違いを確認する。 ・式は、$\frac{4}{5} \div 3$ ・分子が3でわれない。</p>	<p>・前時の問題作りで生まれた疑問(分子が除数でわれないときはどうしたらよいか)から、問題を投げかける。</p> <p>--- <追究の手順> ---</p> <p>① 答えを求める。 ② 計算のしかたを説明する。 ③ 見つけた方法を、他の問題にも使って確かめる。 ④ 課題に対するまとめ(式化)をする。</p>
しらべる	<p>課題 分子がわれないときの、分数÷整数の計算のしかたを考えよう。</p> <p>2 課題解決のための見通しをもつ。 ・分子を3でわれる数(3の倍数)にする。 ・大きさの等しい分数の性質を使う。</p> <p>3 自分なりの考えをもつ。</p>	<p>◇分子がわれないときの計算のしかたを考えることができたか。(記述内容・交流内容)</p> <p><⑦追究が進まない子> ・分子が3でわれる数にするにはどうしたらよいか問いかけ、大きさの等しい分数の性質を想起させる。 →既習内容をまとめたものを提示</p> <p><⑧答えを求めただけにとどまっている子> ・分母に除数をかければよいわけを問いかける。説明できないとき(形式的な操作にとどまっている)は、分子を3でわれる数に直すためにはどうしたらよいかを考えさせる。</p>
みつける	<p>⑦ $\frac{4}{5} \div 3 = \frac{4 \div 3}{5}$ ⑧ $\frac{4}{5} \div 3 = \frac{4}{5 \times 3}$ ⑨ $\frac{4}{5} \div 3 = \frac{4 \times 3}{5 \times 3} \div 3$</p> <p>4 全体で交流する。 ・わられる数を、分子が3でわりきれない分数に直す。 ・分母と分子に同じ数をかけても、大きさは変わらないので、3をかけると12になってくれる。</p> <p>・わる数を分子にかければよい。</p> <p>・面積図に表して、計算方法・答えを確かめる</p> <p>・他の問題で確かめてみる。(子どもの作問より) <例> $\frac{3}{7} \div 2 = \frac{3}{7 \times 2} \leftarrow \frac{3 \times 2}{7 \times 2} \div 2 = \frac{3}{14}$</p> <p>・前時の分子がわるる場合についても、見つけた計算方法が適用できるか確かめる。</p>	<p><⑦計算のしかたを表現することができている子> ・筋道立てて説明できること、簡潔な表現で表していることなどを価値付け、問題作りやまとめを行うように方向付ける。</p> <p><問題作りに取り組んでいる子、まとめをしている子> ・問題の意図を問いかける。(なぜその数字を選んだのか、疑問に思ったことはないか など) ・前時までの学習を生かしてまとめたことを価値付ける。 ・面積図に表して、計算方法・答えを確かめるように助言する。</p> <p>◇分数÷整数の計算のしかたを、前時の学習とつないでまとめることができたか。(記述内容・発表内容)</p> <p>・前時までの学習のまとめ、式化したものを掲示して参考にさせる。</p>
あじわう	<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>分数を整数でわる計算では、分子はそのまま、分母にその整数をかける。</p> <p>$\frac{\triangle}{\bigcirc} \div \square = \frac{\triangle}{\bigcirc \times \square}$</p> <p>6 練習問題に取り組む。 ・教科書P7 鉛筆問題2</p>	<p><評価規準> ○大きさの等しい分数の性質をもとにして、被除数の分子が除数でわりきれないように工夫することができる。(数学的な考え方) ○分数÷整数の計算方法をまとめることができる。(表現・処理)</p> <p>【人権教育の観点】 課題の解決に向けて、等しい大きさの分数の性質や、前時までの学習を生かして自分なりの考えをもち、仲間の考えと比較・検討することができる。(行動力)</p>